

第 59 回プログラミング・シンポジウムの開催にあたって

今年も、冬のプログラミング・シンポジウムを、無事に開催することができました。発表者の方々、御参加の方々に心より感謝申し上げます。

今回は1月19日からの3日間の開催と、例年よりも10日ほど遅い日程になっています。その理由は、今年のセンター試験の日程が1月13日(土)、14日(日)に設定されていたため、それより早い週末開催となると1月5日(金)から7日(日)となってしまう、少々早すぎると判断したためです。例年御参加いただいているある方からは、3日間とも抜け出せない予定が入っていて参加できず、「正月気分の抜けない時期でないと(参加するのが)なかなか難しい」という御意見をいただきました。確かに、プログラミング・シンポジウムと「正月気分」は、切っても切り離せない関係にあるような気もいたします。この時期の開催に関する御意見のある方は、アンケートに御自由にお書きください。

昨年のプログラミング・シンポジウムにおいて、幹事長としての私の任期(4年)は昨年3月までであるとお伝えいたしました。ところが、後任の幹事長の人選等に思いの外手間取ってしまったため、やむを得ず幹事長の任期を1年延長することに致しました。またそれに伴い、本来は任期を迎えるはずであった幹事の山田浩史さんにも、1年任期を延長してお付き合いいただきました。幸いにして、後任の幹事長には、東京大学の横山大作さんにお引き受けいただくことができました。プログラミング・シンポジウムに昔から御参加くださり、幹事としての経験も豊富な横山さんに後を託すことができるのは心強い限りです。

私が幹事長に就任してからの数値目標は、「参加者数100を達成する」ということでした。3日間参加できない方には2日間の参加も可能にするなど、参加しやすい環境を整えるよう努力したつもりです。実際の参加者数は、2014年85、2015年84、2016年93、2017年97、2018年91と、残念ながら目標を達成することができませんでした。御参加の皆様におかれましては、来年度以降も発表・参加を通して新幹事長を支えてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年の夏のプログラミング・シンポジウムは、「Deep」というテーマで2017年9月1日(金)から3日(日)まで、静岡県伊豆市の修善寺にて開催されました。事前の発表申し込みが1件しかなかったため、ハッカソン形式に変更したということでした。幹事の西尾泰和さん、大日向大地さん、三廻部大さん、どうもお疲れさまでした。昨年のこの場でも申しあげましたが、夏のプログラミング・シンポジウムの

開催形式については、幹事団をはじめとする関係者は毎年頭を悩ませています。何か良い知恵がありましたら、アンケートにご記入ください。

第50回情報科学若手の会は、2017年10月7日(土)から9日(月)まで、恒例の静岡県伊東市の山喜旅館で開催されました。全国から、招待講演の方を含む43名が参加し、様々な分野における発表、活発かつ有意義な議論が行われました。こちらの方は毎年手堅く開催されており、安心して見ていられます。幹事の小谷大祐さん、岩成達哉さん、大島孝子さん、黒崎優太さん、高橋真奈茄さん、佐々木康汰さん、柳川優子さん、泉将之さん、どうもありがとうございました。

先に述べました通り、昨年度末の幹事の交代はなく、今年度末で、山田浩史さんが御退任の予定です。現在の幹事は、浅野智之さん、上田真史さん、馬谷誠二さん、大日向大地さん、対馬かなえさん、山田浩史さんです。

なお今回のシンポジウムは、ヤフー株式会社様からスポンサーとしてのご支援をいただいております。

プログラミング・シンポジウム委員会

幹事長 岩崎 英哉 (電気通信大学)